

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年2月27日
札幌市立伏見中学校

1 本校の学校教育目標（本年度、本校の目指すもの）

・豊かな心を育む	・自ら学び考える力を高める	・自律の心と健やかな身体をつくる
----------	---------------	------------------

2 本年度の学校運営6つの重点・学校運営スローガン

・「豊かな人間性の育成」	～豊かな人間性を育成する教育活動の推進 安全で安心した学校生活を送るための生徒支援の充実
・「確かな学力のはぐくみ」	～生徒の一人一人の主体的な学びを軸とした確かな学力の定着 自律的な学習者を育む取組
・「健やかな心身の育成」	～積極的に身体健康保持を図る態度の育成 心の安心を育む教育相談機能の充実
・「特別支援教育の充実」	～個に応じた指導の充実 インクルーシブ教育の推進
・「信頼される学校づくり」	～学校組織の活性化と経営参画意識の高揚 信頼される学校づくり 安全で安心な学校管理
・「伏見らしい特色ある教育活動」	～創造性を発揮させる学校行事 生徒会活動等による創造的な自治活動の充実
学校運営スローガン	
「すべての人が幸せになれる、安全で安心して過ごせる学校」（安心・安全）	

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

※達成状況は、学校評価教職員アンケートの結果、「そう思う」「ややそう思う」と回答したものに、保護者・生徒アンケートの数値を加味したものである。

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点項目	「豊かな人間性の育成」を意識した教育活動を行っている。	A	今後も教職員全員で生徒の相互承認を促し、自己肯定感を高めることができるような共通理解と高い意識をもち教育活動を推進する。	A	A
	「確かな学力のはぐくみ」を目指し、生徒の一人一人の主体的な学びを軸とした確かな学力の定着と、自立的な学習者を育む取組を行っている。	B	ICTを活用して、課題探究的な学習活動を充実し、主体的に学び続ける生徒を育成するとともに、生徒が「見通し」をもって学習に取り組むことができるよう、フォーサイト等を活用していくとともに、単元計画の共有を一層図っていく。	A	A
	保護者に教育方針や学校の様子を十分に伝え、「信頼される学校づくり」を行っている。	A	学校HPの更新の頻度を上げ、すぐーるを活用して便りを配信するなど、学校が取り組んでいることについて積極的に広報することを継続する。	A	A
	学校行事や生徒会行事など、「伏見らしい特色ある教育活動」を行っている。	A	陸上競技記録会や学校祭、合唱発表会、小中音楽交流会など、生徒にとって充実した教育活動を行うことができた。次年度以降も、子どもが主体となって活躍する教育活動を創出していく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・達成率に関わらず、フォーサイトの活用など、確実に意識改善が見られる工夫がされており、とてもいいことだと思います。 ・社会や時代の変化を踏まえ、教育方針の見直しや新たな取組に挑戦されている姿勢は大変意義深いものと感じました。 				
学習指導	基礎・基本の定着のために、指導計画や指導方法を工夫している。	A	「学ぶ力の育成」プログラムに基づき、授業のねらいを子どもたちと共有し、基礎・基本を定着できる、「わかる・できる・楽しい授業」の構築、安心して学習に取り組むことができる支援（TT等）を継続していく。	A	A
	特別の教科道徳の授業が有意義なものになっている。	A	「考え・議論する道徳」を更に推進していく。本校独自の取組でもある「いじめ防止道徳」を含め、全教師が指導と評価の工夫と改善を行っている。	A	A

学習指導	総合的な学習の時間は、生徒にとって有意義な授業である。	A	今後も探究的な活動を重視し、他者と協働しながら学び、考え、判断する学習を繰り返し行うことで、課題を設定し解決する力を育てつつ、生徒の相互承認の場を充実させていく。	A	A
	教科の評定方法について、生徒・保護者に十分説明している。	A	生徒には、授業を通して、各単元・題材目標・ねらい及び評価規準を明確に伝える。保護者には、学校説明会、保護者懇談会などの機会を捉えて、わかりやすく丁寧に説明していく。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着を重視した授業改善や主体的に学ぶ力の育成に向けた取組が進められていると思います。 ・様々な背景や家庭環境をもつ人々と交流し、相互理解を深める機会を更に充実させてほしいです。 ・先生方の尽力のおかげで、魅力的な総合的な学習の時間となっていることが伝わりました。 			
生徒指導	生徒は明るく生き生きと学校生活を送っている。	A	授業や日常生活の中から、生徒の心の状況や人間関係の把握に努め、生徒の気持ちに寄り添い、一人一人が大切にされていると実感できる支援を継続していく。	A	A
	生徒はあいさつがしっかりできている。	A	生活委員会のあいさつ運動の継続のほか、教師からの積極的なあいさつの働きかけを行っていく。生徒会活動や部活動での取組、特別の教科道徳を利用した指導など、学校生活の様々な場面において生徒の心を育て、自分から挨拶ができるような生徒の育成を目指す。	A	A
	いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	A	年間3回、生徒に悩みやいじめについてのアンケートをとり、教育相談期間を学期ごとに行う。また、必要に応じて教育相談を実施し、生徒への温かな配慮と細やかな対応を心掛ける。いじめ防止道徳をはじめ、特別の教科道徳の充実、学校生活全般で道徳的価値に基づいた生き方の自覚を図っていく。	A	A
	生徒の悩みや問題について、適切にかかわっている。	A	全校体制で生徒が相談しやすい環境づくりを積極的に進め、様々な悩みを抱えた生徒の内面的なサポートをより丁寧に継続していく。教育相談を活用しながら生徒理解に努め、保護者や関係各機関との連携を図り、生徒の心の状況の把握に努める。また、学校での取組内容を積極的に保護者へ発信していく。	A	A
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が率先して子どもたちの手本になるような言動、取組があって非常に良いと感じました。 ・生徒の皆さんは明るく落ち着いた学校生活を送っていると感じられます。今後も生徒一人一人に寄り添った指導を継続していただきたいと思います。 ・元気な挨拶をしてくれる生徒が増えたと思います。挨拶運動の継続の大切さを感じます。 			
その他	健康や安全の指導を日常的に行っている。	B	体育委員会を中心として運動習慣の向上を目指し、体を動かすレクを企画していく。また、保健指導及び食育の充実、アレルギー対応の研修の充実、校内の教育環境の整備と維持管理を継続していく。	A	A
	学校予算等の運用が適切に行われている。	A	予算委員会や部会等を適宜行い、授業改善や業務改善に重点をおきながら、適切かつ効果的に運用する。	A	A
	保護者は学校の教育活動に興味をもち、学校に協力することができた。	B	学校の教育活動を積極的に保護者に発信していくとともに、PTAと連携し、様々な場面で学校と関わる機会を作っていく。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの方々にはたくさんの方面で御協力いただきありがたい限りです。今後も負担にならない範囲で気軽にできる持続可能な活動を模索して行ってほしいです。 ・保護者が積極的に学校に関われなかったと感じる方が多かったのは率直な感想だと思います。 ・運動に関しては部活動頼りなところもあると思います。先生方も多忙な中ではありますが、運動機会の創出をお願いしたいです。 			

4. その他 学校関係者評価者からのご意見

- 2期制であったり学校ガイダンスであったり、このような大きな変革も、目的をしっかりと見据えた上で「Try & Error」の精神を大切に今後も行ってほしいと思います。
- 社会に出る上で大切なことは、「挨拶」と「相手を思いやる心」だと思います。挨拶も相手に伝えようとしているかどうか大切で、「感じられる挨拶」のような取組は素晴らしいと思いました。今後も挨拶や「ごめんなさい。」「ありがとうごさいます。」を大切に生徒の育成に励んでほしいです。
- 日々の活動の中で、教職員の皆様が生徒一人一人に丁寧に向き合い、暖かく関わっていらっしゃる事が生徒たちの安心感や落ち着いた学校生活に繋がっていると思います。今後も生徒の成長を支える取組を大切にしながら家庭や地域と連携した学校づくりの更なる充実を期待しています。
- 抜本的な改革があると、子どもたちの選択肢がもっと広がると思います。